

社会には「かっこいい福祉」が必要だ！ ～withコロナ時代を見すえて～

現代社会は、人と会話しなくても買い物したり移動したりできる便利な社会。その裏で子どもも若者も、子育て世代も高齢者も、じわじわと孤立化が進行している。加えて、新型コロナウイルスの世界的蔓延により、直接的な人と人との対話や交流が激減し、さらなる孤立や不安が広がっている。こうした中で、「社会福祉」はどのような視点でどのような役割を果たせるのだろうか？これから求められる「かっこいい福祉」とはどのようなものだろうか？

制度にないサービスを生み出したり、他分野ともっと自由につながったり・・・、従来の「社会福祉」のイメージや枠組みを超えていくアプローチ、「かっこいい福祉」について考える。

日時 2020年12月12日(土) 13:30～16:30

内容

第1部 13:40～14:40

基調講演 村木 厚子氏

社会には「かっこいい福祉」が必要だ！



第2部 14:50～16:30

実践から考える

■報告者

「子どもたちとつくるまちの子どもソーシャルワーク」

NPO法人こどもソーシャルワークセンター

理事長 幸重 忠孝氏

1973年生まれ、岡山出身。児童養護施設職員、大学教員を経て独立型社会福祉士として地域や学校で独創的なソーシャルワーク活動を展開。龍谷大学非常勤講師。



「ひとりの人を救う経験を社会の仕組みに」

社会福祉法人 神戸市兵庫区社会福祉協議会

地域支援課長(地域福祉ネットワーク) 長谷部 治氏

阪神・淡路大震災をきっかけに神戸で社協マンに入職以来、福祉教育・ボランティア学習やボラセンの担当をしていたが、現在はCSWとして『ひとりの人を救う経験を社会の仕組みに』といったスローガンの元、活動中。



■コーディネーター 龍谷大学社会学部長 山田 容氏

■コメンテーター 村木 厚子氏



元厚生労働事務次官、若草プロジェクト代表呼びかけ人
一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表 龍谷大学社会学部客員教授

1978年に労働省(現厚生労働省)に入省し、女性政策、障がい者政策、働き方改革やこども政策などに携わる。郵便不正事件で有印公文書偽造等の罪に問われ、逮捕・起訴されるも、2010年無罪が確定、復職。2013年から2015年まで厚生労働事務次官を務め退官。現在は、累犯障がい者を支援する「共生社会を創る愛の基金」顧問、生きづらさを抱える少女・若年女性を支援する「若草プロジェクト」代表呼びかけ人、住宅確保に困難を抱える者の居住支援を行う「一般社団法人全国居住支援法人協議会」共同代表、また農福連携の普及などに様々な活動に携わっている。2018年度より龍谷大学社会学部客員教授。

著書:

「公務員という仕事」(筑摩書房、2020年7月)、「かっこいい福祉」(今中博之氏と共著)(左右社、2019年)、「私は負けない～郵政不正事件はこうして作られた」(中央公論新社、2013年)他

定 員 300名

参加費 無料

受講申込・受講方法

1. 指定のURL(<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/forum-2020/>)からお申込みください。(申込期間:11月5日(木)～11月20日(金))
2. お申込確認後、お申し込みいただいた方全員に参加可否をご連絡いたします。
3. 参加者には、オンライン(Zoomウェビナー)で使用するURL等を送付いたします。
4. 通信状況等により視聴できない場合があることをご了承ください。
5. 開催日以降にお申込みいただいた方には録画を視聴できるようにいたします。
6. 参加にあたり必要となる配慮等がありましたら、11月20日(金)迄にご連絡をお願いいたします。



お問い合わせ

龍谷大学福祉フォーラム事務局(REC滋賀)
〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1番5
Tel 077-544-7291 Fax 077-543-7771
E-mail r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp
H P <https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/welfare/>
(受付時間:月曜日～金曜日 9:00～17:15)

※土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日は、閉室しております。

主催/龍谷大学福祉フォーラム
共催/龍谷大学社会学部